

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170100350		
法人名	ジンフィールド株式会社		
事業所名	グループホーム シニアライフ本庄		
所在地	佐賀市本庄町大字鹿子9-3		
自己評価作成日	令和5年9月18日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp">www.kaigokensaku.mhlw.go.jp</a>
-------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和5年10月18日	外部評価確定日	令和5年11月6日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>理念にもあるように「人としての尊厳を大切にして、明るく・楽しく・安心して暮らせる環境の提供を目指します。」を念頭に、ご利用者が穏やかであるよう、職員はご利用者様とのコミュニケーションや職員同士のコミュニケーションを図ることを大切に考えています。</p> <p>また、協力医療機関やかかりつけ薬局との連携を取り、ご利用者様の病状把握と異常時の早期発見、早期対応ができ、心身ともにご利用者様やご家族様に安心してご利用いただけるサービス提供を目指しています。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>入居者の方が望む生活を支援するために本人や家族からの情報を収集し、職員間で話し合いを行い利用者の状態に即したケアを実践されている。敷地内にある畑は地域の方に解放され、施設内でも社会性を保てる仕組みを構築されており、コロナ以前は地域に出向き交流は図られていた。感染状況が落ち着き始め、希薄になった関係性を再構築できるように外部に目を向け努力されている。事業所では、誰もが意見を述べられるように口頭以外に紙面で意見を集めるなど職員の働きやすい環境を整備することで離職率も低く、安定した経営ができていると思われる。また、法人や協力医療機関と連携を図り、利用者が安心して生活ができるように創意工夫し対応されている施設である。</p>
---

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟)	自己評価／ユニットB(南棟)	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	次のステップに向けて期待したい内容
			実施状況	実施状況	実施状況	
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	『尊厳楽しく明るく安心』を理念として掲げ「地域の人と触れ合おう地域の人のためになろう地域福祉の核になろう」をスローガンに、また半年毎に事業所の目標を定め、毎朝の唱和と月ごとの振り返りを行っている。また、職員個人が年間目標を立て、日常の介護業務の中での実践に繋がっている。	『尊厳楽しく明るく安心』を理念として掲げ「地域の人と触れ合おう地域の人のためになろう地域福祉の核になろう」をスローガンに、また半年毎に事業所の目標を定め、毎朝の唱和と月ごとの振り返りを行っている。また、職員個人が年間目標を立て、日常の介護業務の中での実践に繋がっている。	運営会社に変更となるも、開設当初からの理念を継続し事業所独自の目標を半期ごとに立案されている。また、個人の年間目標もあり毎月振り返りを行い目標達成に向けた取り組みが行われている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域に愛され、地域に開放された事業所を目指し、事業所の菜園を地域の人に開放し利用して頂いている。収穫した野菜を頂くこともあり、食事の献立に取り入れている。	地域に愛され、地域に開放された事業所を目指し、事業所の菜園を地域の人に開放し利用して頂いている。収穫した野菜を頂くこともあり、食事の献立に取り入れている。	地域のお祭りや敬老会に利用者も参加し社会性が保たれている。また、地域の方に菜園を開放するなど地域に根差した取り組みを実施されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	以前はオレンジカフェの開催、包括主催のオレンジカフェへの参加を行い、認知症に関する知識の共有を行うと共に、予防方法の実践を行っていた。今後もその機会があれば活かしていきたい。	以前はオレンジカフェの開催、包括主催のオレンジカフェへの参加を行い、認知症に関する知識の共有を行うと共に、予防方法の実践を行っていた。今後もその機会があれば活かしていきたい。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	しばらく紙面開催をしていた運営推進会議だが、今年度より復活し2か月に1回実施している。委員からの意見、地域の様子等をお聞きし、取り組みに活かしている。	しばらく紙面開催をしていた運営推進会議だが、今年度より復活し2か月に1回実施している。委員からの意見、地域の様子等をお聞きし、取り組みに活かしている。	会議に利用者や家族も参加することができる。参加されない家族については、玄関に議事録を設置され、いつでも閲覧できる環境となっている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟)	自己評価／ユニットB(南棟)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者とは連携を取り、運営の助言や指導、研修参加へのアドバイスを受けている。新規入所者があった場合は情報共有を行っている。	市町村担当者とは連携を取り、運営の助言や指導、研修参加へのアドバイスを受けている。新規入所者があった場合は情報共有を行っている。		生活保護の利用者も6名おり、行政とは備品購入などに対して相談や報告を行い連携を図られている。また、新規入所の際にその方の生活歴を把握するため行政の担当者に情報を伺いケアに行かされている。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしない、させない、許せないの三原則を守るため「高齢者虐待マニュアル」「事故・ヒヤリ報告書」等を作成。 特に身体拘束については「緊急やむを得ない場合の身体拘束に関する同意書」を徴収し、毎日の経過観察や再検討を行い、利用者様、ご家族様の不安払拭に努めている。	身体拘束をしない、させない、許せないの三原則を守るため「高齢者虐待マニュアル」「事故・ヒヤリ報告書」等を作成。 特に身体拘束については「緊急やむを得ない場合の身体拘束に関する同意書」を徴収し、毎日の経過観察や再検討を行い、利用者様、ご家族様の不安払拭に努めている。		身体拘束をしないことを基本に考え、玄関の施錠等も夜間のみとなっている。家族の希望等で身体拘束をしている事例はあるが、法に基づき実施されている。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員の入職時、及び月1回のミーティングや定期的な社内研修会でマニュアルを元に学習し、正しい理解とケアに取り組み防止に努めている。	職員の入職時、及び月1回のミーティングや定期的な社内研修会でマニュアルを元に学習し、正しい理解とケアに取り組み防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見制度について定期的な社内研修時に勉強を行っている。	権利擁護や成年後見制度について定期的な社内研修時に勉強を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約については重要事項証明書と契約書を一本化した。また、契約に当たってわかりやすく丁寧に内容の説明を行い、理解・納得して頂いている。	契約については重要事項証明書と契約書を一本化した。また、契約に当たってわかりやすく丁寧に内容の説明を行い、理解・納得して頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様やご家族様の意見、要望が迅速に上司に届くよう職員間のコミュニケーションを図る一方、意見・要望が出た場合は職員間・または会社報告を行い運営に反映させている。	利用者様やご家族様の意見、要望が迅速に上司に届くよう職員間のコミュニケーションを図る一方、意見・要望が出た場合は職員間・または会社報告を行い運営に反映させている。	玄関に意見箱を準備されているが投函されたことはなく、直接家族からご意見を伺う。運営上 改善が必要な意見に対しては法人内で検討され情報が共有されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案は日常的に出しやすい雰囲気作りを行い、職員同士での話し合い、上司への相談等主体的に行ってもらっている。利用者様へ支援方法や職員の労働環境改善、業務のスムーズ化を実施している。	職員の意見や提案は日常的に出しやすい雰囲気作りを行い、職員同士での話し合い、上司への相談等主体的に行ってもらっている。利用者様へ支援方法や職員の労働環境改善、業務のスムーズ化を実施している。	毎月の会議にて、職員の意見を運営に反映されているが、発言しにくい職員に関しては共有のファイルを準備され、そこに記載し誰もが意見を述べる仕組みを構築され、業務改善に向けた取り組みがなされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の勤務態度、業務に対する価値観やモチベーションの把握、体調の把握を行い、必要時には代表者へ報告を行っている。意欲を持って取り組めるようフォローしている。	職員の勤務態度、業務に対する価値観やモチベーションの把握、体調の把握を行い、必要時には代表者へ報告を行っている。意欲を持って取り組めるようフォローしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の実践と力量の把握に努め、社内外の研修日程を知らせ機会を提供している。また、研修の希望を聞き、資料を準備し伝える機会を設けている。	職員の実践と力量の把握に努め、社内外の研修日程を知らせ機会を提供している。また、研修の希望を聞き、資料を準備し伝える機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は代表者、社内の他事業所管理者と話し合う機会を多く設け、医療、福祉、地域、保険者等の関係各所と連携を取り、サービスの向上を目指している。	管理者は代表者、社内の他事業所管理者と話し合う機会を多く設け、医療、福祉、地域、保険者等の関係各所と連携を取り、サービスの向上を目指している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	新規入居にあたり、利用者様、ご家族様、管理者、介護支援専門員、スタッフ、看護師、薬剤師と話し合い、安心した生活を送れるような関係づくりに努めている。	新規入居にあたり、利用者様、ご家族様、管理者、介護支援専門員、スタッフ、看護師、薬剤師と話し合い、安心した生活を送れるような関係づくりに努めている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	問合せや見学の段階で利用者様やご家族様の状況を出来るだけ理解し、不安や要望を汲み取るよう努めている。	問合せや見学の段階で利用者様やご家族様の状況を出来るだけ理解し、不安や要望を汲み取るよう努めている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアマネジャーがケア、診療記録等を精査し、どのような介護支援を実施するか協議を行っている。利用者様、ご家族様が安心した生活を送れるような関係づくりに努めている。	ケアマネジャーがケア、診療記録等を精査し、どのような介護支援を実施するか協議を行っている。利用者様、ご家族様が安心した生活を送れるような関係づくりに努めている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様が自分らしさを持って安心して生活して頂ける様、残存機能や意欲の把握を行い、生活動作の参加を求め暮らしを共にする関係性を築いている。	利用者様が自分らしさを持って安心して生活して頂ける様、残存機能や意欲の把握を行い、生活動作の参加を求め暮らしを共にする関係性を築いている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様が利用者様の生活に継続的にかかわって頂ける様、生活状況の報告や相談、意見を伺う機会を設けている。	ご家族様が利用者様の生活に継続的にかかわって頂ける様、生活状況の報告や相談、意見を伺う機会を設けている。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や馴染みの方との面会、電話や手紙の取次ぎを行い、関係が途切れない様支援している。	ご家族や馴染みの方との面会、電話や手紙の取次ぎを行い、関係が途切れない様支援している。	現在は、感染予防の観点により職員と短時間のみでの外出となっているが、本来は家族と自由に外出できる環境である。面会時間も感染状況に応じ制限が設けられるが、9時～17時が基本の面会時間となっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様に合わせ、会話やレクリエーション、日常生活動作(洗濯物や片付け)等に参加して頂き孤立感を持たせない工夫を行っている。	利用者様に合わせ、会話やレクリエーション、日常生活動作(洗濯物や片付け)等に参加して頂き孤立感を持たせない工夫を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても相談して頂けるような働きかけと、他事業所へ移られた後の経過を気にかけている。	契約が終了しても相談して頂けるような働きかけと、他事業所へ移られた後の経過を気にかけている。		

### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の言葉や想いを引き出し、推察をし、ご家族様の希望や意向の把握を行い、その環境が継続できるように努めている。	利用者様の言葉や想いを引き出し、推察をし、ご家族様の希望や意向の把握を行い、その環境が継続できるように努めている。	入居時より利用者や家族に情報収集を行い、アセスメントシートを作成されている。定期的にシートも更新され、利用者に応じたケアを提供する為の仕組みが構築されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様それぞれの生活歴や環境が異なるため、把握できることは全てスタッフと共有を行っている。	利用者様それぞれの生活歴や環境が異なるため、把握できることは全てスタッフと共有を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟)	自己評価／ユニットB(南棟)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の生活リズムに合わせてケアを行い、排泄リズムや身体の状態に合わせた活動の推進や声掛けを行っている。	個々の生活リズムに合わせてケアを行い、排泄リズムや身体の状態に合わせた活動の推進や声掛けを行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居の段階で利用者様や家族の主訴を聞き取り、本人、家族の要望に沿った介護計画を作成している。介護計画作成にあたっては計画作成担当者が看護師、薬剤師、ケアマネジャー、介護士、家族等の意見を聴取している。個別会議の際にモニタリングを実施し介護計画作成に努めている。	入居の段階で利用者様や家族の主訴を聞き取り、本人、家族の要望に沿った介護計画を作成している。介護計画作成にあたっては計画作成担当者が看護師、薬剤師、ケアマネジャー、介護士、家族等の意見を聴取している。個別会議の際にモニタリングを実施し介護計画作成に努めている。	ケアカンファレンスには、事業所の外部より薬剤師や看護師も参加し話し合いを行われている。モニタリングに関しては3ヶ月に1回実施され、担当の介護士を中心にその人の現状を把握するために話し合いが行われている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様の日々の記録はケース記録やバイタル表に記録をし、職員が早期に情報共有できる様体制作りをしている。また、毎朝の申し送りや小まめな情報共有を実施している。	利用者様の日々の記録はケース記録やバイタル表に記録をし、職員が早期に情報共有できる様体制作りをしている。また、毎朝の申し送りや小まめな情報共有を実施している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様の入居後も状態や状況に応じて生まれたニーズに対応すべく、常に検討し柔軟な支援やサービスに繋げている。	利用者様の入居後も状態や状況に応じて生まれたニーズに対応すべく、常に検討し柔軟な支援やサービスに繋げている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域に根ざした事業所作りを指標としていることから、常に地域との関係を築くことを意識しており、地域の小学校からのお手紙の掲示や地域ネットワーク会議への参加を通してフィードバックを行っている。	地域に根ざした事業所作りを指標としていることから、常に地域との関係を築くことを意識しており、地域の小学校からのお手紙の掲示や地域ネットワーク会議への参加を通してフィードバックを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟)	自己評価／ユニットB(南棟)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様やご家族様と相談しながら、要望にて協力機関やその他の医療機関を受診、往診にて対応している。 特変時でも速やかにご家族様に連絡を取り適切な医療を受けて頂ける様支援している。	本人様やご家族様と相談しながら、要望にて協力機関やその他の医療機関を受診、往診にて対応している。 特変時でも速やかにご家族様に連絡を取り適切な医療を受けて頂ける様支援している。	協力医療機関とは、24時間365日連絡が取れる体制となっており、緊急時の受け入れも可能となっている。また、法人内の看護師とも連携を図ることで、状態変化の際に直ぐに対応することができる。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	非常勤の看護師に健康維持・緊急対応時の相談ができるような体制を取っている。職員や管理者が報告、確認等を行い早期発見、対応に繋がるよう努めている。	非常勤の看護師に健康維持・緊急対応時の相談ができるような体制を取っている。職員や管理者が報告、確認等を行い早期発見、対応に繋がるよう努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者様の入院時は定期的に病院より状態の聞き取りを行い、相談や要望を相互に伝えあえるような関係作りにも努めている。	利用者様の入院時は定期的に病院より状態の聞き取りを行い、相談や要望を相互に伝えあえるような関係作りにも努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居の時点で急変時の説明を行い、併せて「重度化した場合及び看取り介護に関する指針」に関する同意書にご署名・捺印を頂いている。希望があれば安心して生活を継続して過ごして頂ける様、取り組んでいる。	入居の時点で急変時の説明を行い、併せて「重度化した場合及び看取り介護に関する指針」に関する同意書にご署名・捺印を頂いている。希望があれば安心して生活を継続して過ごして頂ける様、取り組んでいる。	看取りの実績はないが、指針を準備され対応することは可能となっている。入居時から急変時の意向を確認し、入院など状態の変化があった際は再確認を行い円滑に対応出来るようにされている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生マニュアルを作成し、掲示を行っている。夜間でもすぐに対応できる職員を配置し、職員間で想定を行って実践できる様努めている。	急変時や事故発生マニュアルを作成し、掲示を行っている。夜間でもすぐに対応できる職員を配置し、職員間で想定を行って実践できる様努めている。	/		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防署指示のもと、日中・夜間を想定した誘導・避難訓練を実施。また、年1回地震・水害時の情報収集や避難の想定を行っている。災害時は近隣タクシー会社様の協力を仰いでいる。	年2回の消防署指示のもと、日中・夜間を想定した誘導・避難訓練を実施。また、年1回地震・水害時の情報収集や避難の想定を行っている。災害時は近隣タクシー会社様の協力を仰いでいる。			ハザードマップ上では安心な地域ではあるが法人としてBCP(事業継続計画)を作成され最終調整の段階である。消防訓練時に地域の消防団に参加してもらうようにと自治会長からの助言もあり協力体制を構築できるように取り組み始められている。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	サービス提供時は尊厳を大切にし、特に入浴や排泄時の声掛けや対応等に配慮をしている。職員の入職時には個人情報保護の誓約書を徴収しご家族様からは個人情報の同意書を頂きプライバシー保護の観点からも注意を行っている。	サービス提供時は尊厳を大切にし、特に入浴や排泄時の声掛けや対応等に配慮をしている。職員の入職時には個人情報保護の誓約書を徴収しご家族様からは個人情報の同意書を頂きプライバシー保護の観点からも注意を行っている。	羞恥心に配慮した声かけを行うように、入職時から指導をされている。また、今後もプライバシー促進の勉強会などを予定されており、尊厳あるケアが提供できるように法人として取り組まれている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様が自分の生活リズムで過ごす事ができる様努めている。コミュニケーションの中で希望を汲み取り、職員間で共有している。	利用者様が自分の生活リズムで過ごす事ができる様努めている。コミュニケーションの中で希望を汲み取り、職員間で共有している。	/		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れは計画されているが、気分や状況に応じてレクリエーションや洗濯物置み、他者との交流等参加するかどうかの判断は利用者様の判断にゆだねている。	一日の流れは計画されているが、気分や状況に応じてレクリエーションや洗濯物置み、他者との交流等参加するかどうかの判断は利用者様の判断にゆだねている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	頭髪、着衣等に配慮し、毎月1回の訪問理容日には利用者様の希望を聞きおしゃれや身だしなみができる様継続した支援を行っている。	頭髪、着衣等に配慮し、毎月1回の訪問理容日には利用者様の希望を聞きおしゃれや身だしなみができる様継続した支援を行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューの紹介や旬の食材の話題を提供し楽しみを共有している。各利用者様の食事形態、嗜好を定期的にまとめ、自力で安全に食べて頂けるような支援に努めている。	メニューの紹介や旬の食材の話題を提供し楽しみを共有している。各利用者様の食事形態、嗜好を定期的にまとめ、自力で安全に食べて頂けるような支援に努めている。	法人内で作られた食事を各事業所に配達されている。そのため、月に一度書面にて食事に関する気づきなどを提出し意見の反映に努められている。食事形態は、常食、刻み食、ミキサー食を提供する事が可能である。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量の記録、また水分の摂取量も毎回計測し時間帯を含めて管理している。	食事の摂取量の記録、また水分の摂取量も毎回計測し時間帯を含めて管理している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは日課に取り入れ、自分で出来ない方には職員が介助を行い清潔保持に努めている。夕食後には義歯を預かり洗浄等行っている。歯ブラシや口腔スポンジ、コップの交換・消毒も定期的に行っている。	毎食後の口腔ケアは日課に取り入れ、自分で出来ない方には職員が介助を行い清潔保持に努めている。夕食後には義歯を預かり洗浄等行っている。歯ブラシや口腔スポンジ、コップの交換・消毒も定期的に行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟)	自己評価／ユニットB(南棟)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的な排泄の促しや確認、交換を実施し排泄チェック表への記録によりリズムの把握に努めている。また、普段オムツ内へ排泄をされる利用者様も時折便意の訴えがあり、職員2人介助でトイレへ案内するなど、安心して排泄して頂ける様支援している。	定期的な排泄の促しや確認、交換を実施し排泄チェック表への記録によりリズムの把握に努めている。また、普段オムツ内へ排泄をされる利用者様も時折便意の訴えがあり、職員2人介助でトイレへ案内するなど、安心して排泄して頂ける様支援している。	排泄チェック表を活用し排泄パターンを把握することでトイレ誘導が可能となっている。必要に応じて、ポータブルトイレや夜間帯のみおむつを使用するケースもある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録により個人の便秘状況を把握し飲食物の工夫や、体操、腹部マッサージ、入浴等温熱効果を試し自然排泄できる様支援している。また最終的に個々に合った排便の把握をし下剤の使用をしている。	排泄記録により個人の便秘状況を把握し飲食物の工夫や、体操、腹部マッサージ、入浴等温熱効果を試し自然排泄できる様支援している。また最終的に個々に合った排便の把握をし下剤の使用をしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的な入浴時間は決めているが、声掛けにて気分的な拒否があった場合は無理強いせずに時間を置いて再度声掛けしたり翌日以降の入浴としている。満足感や爽快感のある時間となるよう努めている。	基本的な入浴時間は決めているが、声掛けにて気分的な拒否があった場合は無理強いせずに時間を置いて再度声掛けしたり翌日以降の入浴としている。満足感や爽快感のある時間となるよう努めている。	基本的には週に2回の入浴が午前中に実施おり、マンツーマンでの対応となり同性介助を希望することもできる。季節に応じて桜やゆずなどの入浴を楽しむことも支援されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣に合わせた休息時間をとって頂ける様にしているが、昼間にレクリエーション等の活動時間を作り夜間の安眠に繋げるよう努めている。	生活習慣に合わせた休息時間をとって頂ける様にしているが、昼間にレクリエーション等の活動時間を作り夜間の安眠に繋げるよう努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師による居宅療養管理指導にて薬の目的や理解を基本に服薬支援や症状変化の観察に努めている。また、不明な点や相談を薬剤師に直接聞ける機会がある。	薬剤師による居宅療養管理指導にて薬の目的や理解を基本に服薬支援や症状変化の観察に努めている。また、不明な点や相談を薬剤師に直接聞ける機会がある。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人が達成感を味わえる様な働きかけや役割を検討し実践している。 日常生活の中に少しでも笑いがあるような雰囲気作りに努めている。	一人一人が達成感を味わえる様な働きかけや役割を検討し実践している。 日常生活の中に少しでも笑いがあるような雰囲気作りに努めている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節、気候に応じて施設のテラスや畑に出て外気を感じられるような時間をとっている。桜の季節は駐車場へ、テラスではテーブルやイスを準備しおやつやレクリエーションを行う等気分転換を兼ねた支援を行っている。 コロナ禍以前は定期的に外出を行っていたが、今事業所で出来る支援として最大限に努めている。	季節、気候に応じて施設のテラスや畑に出て外気を感じられるような時間をとっている。桜の季節は駐車場へ、テラスではテーブルやイスを準備しおやつやレクリエーションを行う等気分転換を兼ねた支援を行っている。 コロナ禍以前は定期的に外出を行っていたが、今事業所で出来る支援として最大限に努めている。	感染予防の観点により外出の頻度は少なくなっているが今後は感染状況に応じて外出の頻度を増やせるようにと考えられている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様の買い物についてはご家族様了承のもと、必要な購入品があった場合立替をし後日家族様へ請求している。 本人様が持っておきたいと希望があった場合、金銭管理能力を考慮の上、ご家族様にも確認し対応している。	利用者様の買い物についてはご家族様了承のもと、必要な購入品があった場合立替をし後日家族様へ請求している。 本人様が持っておきたいと希望があった場合、金銭管理能力を考慮の上、ご家族様にも確認し対応している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話・手紙について自由にできるよう支援を行っている。携帯電話をお持ちの利用者様も数名おられ、ご家族様からかかたりかけたりされる。充電に関して声掛け、支援している。	電話・手紙について自由にできるよう支援を行っている。携帯電話をお持ちの利用者様も数名おられ、ご家族様からかかたりかけたりされる。充電に関して声掛け、支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間について、照明の調節や空調管理、特に異臭防止に努め快適な雰囲気を作っている。 また、毎月の壁面掲示は季節を感じるものに張り替えている。その制作物も利用者様と一緒に取り組んでいる。	共有空間について、照明の調節や空調管理、特に異臭防止に努め快適な雰囲気を作っている。 また、毎月の壁面掲示は季節を感じるものに張り替えている。その制作物も利用者様と一緒に取り組んでいる。	リビングには、利用者が作成された作品が掲示されており、光が差し込む明るい空間となっている。また、共有部分や居室にもスプリンクラーが設置されており、災害時対策も整備されている。テラスでは気候に応じておやつを楽しむなど憩いの空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用部分は常に明るい空間にすると共に、くつろげるよう家具を配置し、状況に合わせて変更しながら寛げる空間作りを行っている。	共用部分は常に明るい空間にすると共に、くつろげるよう家具を配置し、状況に合わせて変更しながら寛げる空間作りを行っている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は規格より広めに設定されており、プライベート空間の確保も図っている。 家具の持ち込みも自由で利用者様は自らに合った空間を作って頂いている。 仏壇の備え付けも自由とし心の安らぎを与えている。	居室は規格より広めに設定されており、プライベート空間の確保も図っている。 家具の持ち込みも自由で利用者様は自らに合った空間を作って頂いている。 仏壇の備え付けも自由とし心の安らぎを与えている。	居室は、ベッドと床頭台のみが準備されており、テレビやタンス、仏壇などが自由に持ち込まれている。ベッドは準備されているが、寝具は家族で準備する必要がある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	「できること」「わかること」の気づきの共有を行い、常に職員間の情報をアップデートしている。見守りや助言、声掛けが必要な場合は支援を行い工夫を行っている。	「できること」「わかること」の気づきの共有を行い、常に職員間の情報をアップデートしている。見守りや助言、声掛けが必要な場合は支援を行い工夫を行っている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)			1. ほぼ全ての利用者の
		○	○	2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
		○	○	3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない